

# 第28回結核予防及び胸部疾病日中友好交流会議

## 国際会議として日中学術交流がさらに大きな輪に

今年、2019年10月10日から10月15日の期間に開催いたしました。詳細は、続きの記事をご覧ください。

宮城県結核予防会複十字健診センター

所長 齋藤 泰紀



国際会議終了後。左から2人目劉院長，5人目岡田先生，9人目加藤団長，右から2人目森本先生，6人目齋藤先生

中国遼寧省瀋陽第十人民医院胸科医院院長兼瀋陽市防勞協会理事長の劉永煜先生のお招きにより、第28回結核及び胸部疾病日中友好交流会議に参加してまいりましたので、報告します。

今回は劉先生のお力により、従来よりも学術交流の規模を広げて、英語による発表の国際会議“The 1<sup>st</sup> International Summit On Tuberculosis Prevention And Treatment In Northeast Asia”兼“The 28<sup>th</sup> China Japan Summit Forum On Tuberculosis Prevention and Chest Diseases”として、生まれ変わりました。

訪問団は、結核予防会結核研究所所長の加藤誠也先生を団長として、同国際部長岡田耕輔先生、複十字病院呼吸器センター医長兼臨床研究科長森本耕三先生、筆者である宮城県結核予防会齋藤泰紀、そして、通訳として、栄研化学の呉邦傑氏の5名でした。

2019年10月10日瀋陽に到着、胸科医院副院長の李坤先生、日本語の堪能な譚珂先生をはじめとする中国側スタッフの熱い歓迎を受けました。

10月11日は、瀋陽第十人民医院胸科医院を早速訪問しました。

結核に対応する病棟は、独立した9階建てのビル

で、病床は、一般の結核患者495床、多剤耐性結核患者135床を有し、年間17,000名の入退院を平均入院日数10～15日に対応し、年間延べ50万人の外来患者が通院し、中国東北地方の結核の最大拠点病院として機能していました。

標準治療以外に、気管支鏡による空洞内薬剤注入療法を行い、また、多剤耐性結核に対しては、ベダキリンを含めたレジメンも多くの患者に行っていました。検査室は、最先端の遺伝子診断機器を揃え、中国で開発した、採取した喀痰を入れると、塗抹、染色、検鏡が自動で行われる装置を使っていました。

見学後、結核研究所の研修プログラムを受けたスタッフも交えて結核に関する検討報告や質疑応答など熱心な討議が行われました。

10月12日は、1日をかけて、瀋陽市中心部のホテル内の立派な会場で、約100名の聴衆が参加し、上記会議が行われました。冒頭には、会長の劉先生と、結核研究所所長の加藤先生の挨拶で始まり、演者も中国から4題、国際的関連企業から1題、日本から訪中団の4題、韓国から3題、モンゴルから1題、ロシアから1題と、国際色豊かな会議となりました。全14題の発表が同時通訳付きで行われました。最後

に、今後も一致団結して結核終息を目指そうとの宣言が採択され、一同決意を新たにして国際会議を終えました。

翌13日には、中国新幹線で遼寧省西方に1時間半ほど行った、錦州市伝染病医院を訪問し、前院長の何軍党書記、副院長の常東岳先生およびスタッフの皆さんと、病院見学ならびに意見交換を行いました。

中国における結核罹患率はまだ高く、日本の約6倍とされており、日本の約50年前の状況と類似しています。加藤団長が学術集会における挨拶で述べておられましたが、日本の経験が中国および他の高まん延国に対する今後の結核対策に役立つことは多いと考えられます。また、今回見学したような、瀋陽

や錦州の病院のように、咯血・脳脊髄結核等重症かつ様々な病態の患者さんを日本の病院の10倍以上の規模かつ、近代的設備で日常的に診療していることは、日本における結核の臨床においても、学ぶことが多くあります。病院や設備が近代的になっている一方で、圧倒的な患者数の診断治療に追われており、成績を分析・評価する余裕がもっとあればと惜しまれました。

最後の夜は、白酒を酌み交わし（紳士的に）、今後とも、日中両国が手を取り合って、結核の終息に向けて協力していくことを共に誓って帰途につきました。🍷

#### 国際会議における結核予防会参加者の発表演題

発表者	演題（邦題）
結核研究所 所長 加藤誠也（団長）	「日本における潜在性結核感染症治療」
結核予防会 国際部長 岡田耕輔	「ミャンマーにおけるTB-LAMP導入による結核診断への効果について」
複十字病院 臨床医学研修部臨床研修科長 森本耕三	「東アジアにおける肺非結核性抗酸菌症の疫学状況」
宮城県結核予防会 複十字健診センター 所長 齋藤泰紀	「宮城県の胸部検診におけるX線写真読影の質保証」



10月11日 記念品を交換



10月11日 瀋陽市第十人民医院胸科医院进行訪問